

御船高校の生徒が先生に！？

8月5日、高木小学校（福田雅也校長・116人）で夏休み期間中に、御船高校の生徒が小学生に勉強を教える「あこがれ学習会」を開催しました。この学習会は、毎年恒例で実施しているもので、夏休みの宿題や1学期までの学習の復習を中心に行います。小学生は、高校生との会話を通して交流も深めながら、楽しく勉強しました。萩坂太一くん（5年）は「（高校生たちは）優しくて、勉強もとても分かりやすかった。これで苦手科目を克服したい」と笑顔で話し、高校生たちへ憧れのまなざしを送っていました。



高校生から勉強を教えてもらう高木小児童

学校給食センターで非常食調理実習

8月5日から8日にかけて、御船町学校給食センター（宮崎靖所長）で災害時に食事の提供をスムーズにできるよう調理訓練を目的とした非常食調理実習を行いました。訓練では、高圧調理器を使ってカレーを調理。真空冷却機で冷やしたところに、銀色パウチに詰め、高温高圧調理器で殺菌し、600個のレトルトカレーを作りました。今年から、レトルトカレーに製造ロット番号を振り分け、状態を一つ一つ管理します。宮崎所長は「いつ何時に起こるかわからない災害に備えて対応したい」と話しました。



カレーの分量を量り、手分けした作業でパウチに詰める

御船川精霊流し～御船川で感謝をのせて

8月16日、故人や先祖を供養する夏季慰霊祭（町主催）と熊本三大精霊流しの一つといわれるみふね精霊流し（みふね精霊流し保存会）が御船川の河川敷で開催されました。御船川には、供養万灯やさまざまな想いが込められた願い万灯が神秘的な灯りをともしながら、ゆっくりと下っていきました。28隻集まった精霊舟は、花火を打ち上げ、爆竹を鳴らしながら、遺族たちによって河川敷を担いで運ばれました。精霊舟が大きな炎に包まれる姿を見守る人たちは、手を合わせ、故人や先祖に思いを馳せていました。



1



1_遺族たちによって送られる精霊舟 2_道を照らす万灯 3_供養万灯を見つめる様子 4_精霊舟の提灯に火を灯す 5_花火に火をつけ、あたりを照らす 6_精霊舟からきらびやかな光を放つ

愛郷吉無田～第17回ふれあい夏祭り

8月3日、愛郷吉無田「第17回ふれあい夏祭り」が吉無田の大自然の中で開催されました。この夏祭りは、愛郷吉無田活性化委員会（梶原光典公民館長）主催で行われ、町内外から多くの人が訪れました。オープニングでは、七滝中央小学校の力強い和太鼓で幕を開き、カントリーバンドの演奏に合わせたウエスタンダンスなどで会場が盛り上がりしました。日が暮れ始めると、竹のたいまつに火が灯され、大自然の雄大さを感じさせるビエントのゆうすげコンサートが行われました。花火大会では、間近で打ち上がる色鮮やかな花火が観客を魅了し、祭りの最後には、お楽しみ抽選会を実施。大盛況のまま地元手作りの夏祭りが幕を閉じました。



1_ウエスタンダンスを踊る参加者たち
2_カントリーバンド「Cowpunchers」によるライブ
3_七滝中央小による和太鼓演奏
4_恐竜釣り堀コーナー
5_会場を盛り上げるひょうこ踊り
6_笑顔で踊る参加者たち

下辺田見でそうめん流し

8月4日、下辺田見公園で下辺田見子ども会（福嶋真弓美会長）を主催とした地域のそうめん流しが行われました。地域のひととの交流を目的にしているこのイベントには、約60人が参加。そうめん流しで使う竹などの準備は、地域住民が行い、下辺田見地区の中熊博明区長は「子ども会の保護者や子どもたち、地域住民の人たちと一緒に作業することで顔も知れて、絆をつくるいい機会」と話す。参加した福嶋一希さんは「みんなで食べるそうめんは、おいしかった。また来年も参加したい」と笑顔で話しました。



みんなで食べるとおいしいそうめん